

# 緑化センター みにがいど No.26

傘のように広がる

## タギョウショウ

マツはその姿が美しく常に緑を保つことから、クロマツ、アカマツ、ゴヨウマツなどが古来日本庭園によく用いられます。

タギョウショウは「多行松」の意味で、幹が根元近くで多数に枝分かれして、自然に傘状になるアカマツの園芸品種の一つですが、その独特の樹形から、日本庭園よりも公園や広い洋風庭園に列植されるほうが似合っているようです。

緑化センターにも本館前庭やロックガーデンに植えてありますのでぜひご覧ください。



## タギョウショウ マツ科

タギョウショウ（多行松）はアカマツの園芸品種とされ公園や庭園に植栽される。

幹の根元近くで多数の枝に分岐し、主幹はなく、枝は斜めに伸び、自然に傘状に広がる。樹皮の色、葉の形などはアカマツに似ているが、より繊細で球果も小ぶりである。クロマツの台木に接木されて増殖されることが多く、クロマツに近い性質を帯びたものもある。

アカマツと同じように陽樹で日当たりを好むので、日陰や湿地には向かない。芝生の中などに単木又は列状に植える例が多い。生長は遅いが、寿命は約50年と短い。

滋賀県甲西町にある天然記念物「ウツクシマツ（美松）」よりも枝の広がりが大きいのでより椀形の樹形になる。

コーヒーで一息入れませんか  
緑化センター レストハウス